

はじめに

少子化・人口減少や気候変動など現下の様々な危機を克服し新しい時代を切り拓いていくため、社会経済システムの大胆な変革に挑戦し、真に豊かな社会をここ信州から共に創っていくための計画として、2023年3月にしあわせ信州創造プラン3.0（長野県総合5か年計画）を策定しました。

2025年度は、しあわせ信州創造プラン3.0の計画期間において折り返しの年です。本報告書において、しあわせ信州創造プラン3.0で設定した達成目標の進捗状況や施策の実施状況を振り返り、本県の立ち位置を明確にした上で、「ゆたかな社会」の実現に向けて更なる施策推進に取り組んでまいります。

大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために

私たちは今、時代の大きな転換点に立っています。

新型コロナウイルス感染症や国際情勢の激変による物価高騰、また中長期的には、気候変動とそれに伴う災害の激甚化・頻発化、急激な少子化・人口減少とそれに伴う産業や地域の担い手不足などの様々な危機が、現在、複合的に押し寄せています。こうした危機を克服し、県民の皆様が明日への希望と安心感を持って日々の生活を送ることができるよう「確かな暮らし」を守り抜くことが急務です。

また、社会の成熟やグローバル化、デジタルトランスフォーメーションをはじめとする技術革新の急速な進展に加えて、コロナ禍などを契機として人々の価値観やライフスタイルにも大きな変化が生じています。

こうした変化が急激で先を見通すことが難しいVUCA（ブーカ）とも呼ばれる時代の中で、私たちは、環境と社会、経済が調和的に発展するとともに、人権や多様性が尊重され、誰もがその能力を十分に発揮できる、本当の意味で「ゆたかな社会」を築いていかなければなりません。

そのためには、従来の常識にとらわれることなく、ありたい社会の姿を見据えて、新しい発想で社会経済システムを大胆に変革していく必要があります。

“地球の未来がどうなるか、それは私たち皆に関係のあることだ。だから私たち全員が、それを守るためにできることをやらなければならない”と、アフリカ人女性初のノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんは自伝（『UNBOWED へこたれない』）の中で述べています。

マータイさんの活動は、環境保護にとどまらず、女性の社会進出や平和への貢献などにも広がり、新しい社会の構築につながっていきました。

私たちも、今こそ、行動を起こす時です。

しあわせ信州創造プラン3.0（長野県総合5か年計画）で掲げた「ゆたかな社会」の実現に向け、県民の皆様の力を結集して、新しい時代を、ここ信州から共に創っていきましょう。

令和5年（2023年）3月
長野県知事 阿部 守一

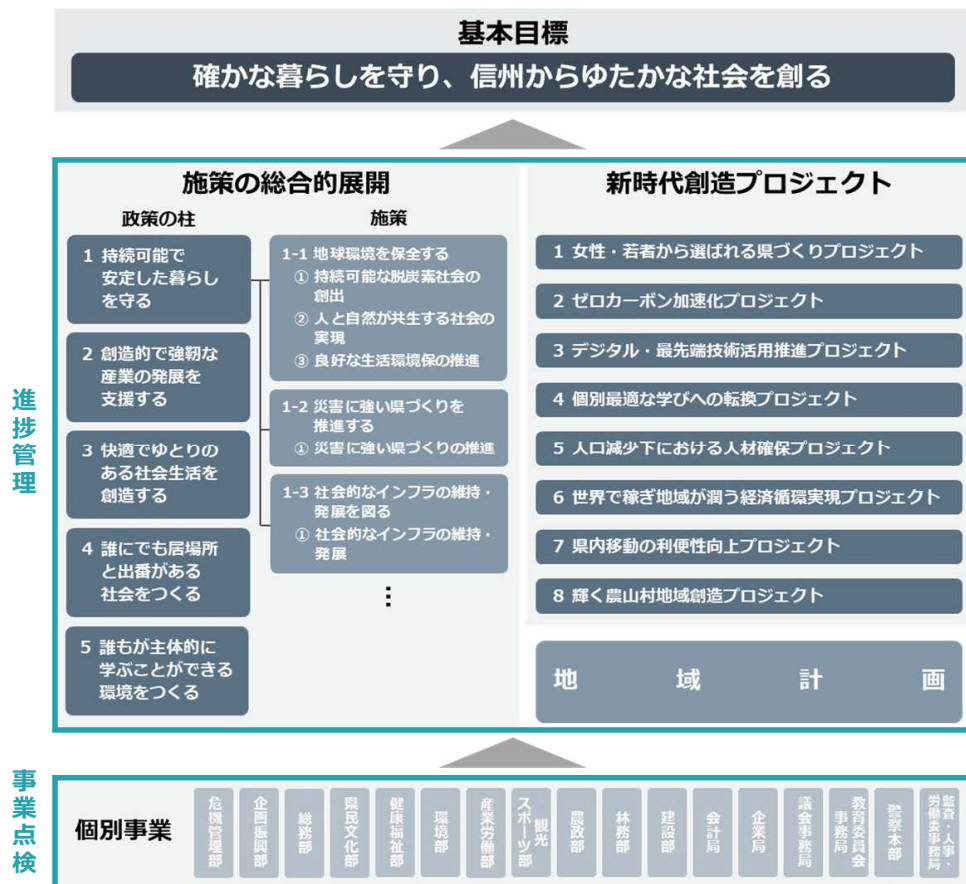
目 次

長野県総合5か年計画 政策評価制度の概要	1
I. 政策評価結果の概要	3
II. 施策の総合的展開の評価	10
1 持続可能で安定した暮らしを守る	11
2 創造的で強靱な産業の発展を支援する	16
3 快適でゆとりのある社会生活を創造する	20
4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる	24
5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる	27
6 達成目標の進捗状況（施策の総合的展開）一覧表	29
III. 新時代創造プロジェクトの評価	38
1 女性・若者から選ばれる県づくりプロジェクト	39
2 ゼロカーボン加速化プロジェクト	41
3 デジタル・最先端技術活用推進プロジェクト	43
4 個別最適な学びへの転換プロジェクト	45
5 人口減少下における人材確保プロジェクト	47
6 世界で稼ぎ地域が潤う経済循環実現プロジェクト	49
7 県内移動の利便性向上プロジェクト	51
8 輝く農山村地域創造プロジェクト	53
IV. 地域計画の評価	55
佐久地域	56
上田地域	58
諏訪地域	60
上伊那地域	62
南信州地域	64
木曽地域	66
松本地域	68
北アルプス地域	70
長野地域	72
北信地域	74
達成目標の進捗状況（地域計画）一覧表	76
V. 事業点検結果の概要	81
VI. 地方創生関連事業の実施結果	83
地方創生関連交付金事業の実施結果	84
まち・ひと・しごと創生寄附（企業版ふるさと納税）活用事業の実施結果	88

1 構成

政策評価制度は次の要素によって構成されており、一体的に運用と評価を行います。

- ① しあわせ信州創造プラン3.0（以下「プラン3.0」という。計画期間 2023（令和5）年度～2027（令和9）年度）に基づく**施策の進捗管理**
- ② 県の基本的な活動である**事業の点検**



2 対象・時点

(1) 施策の進捗管理

施策の総合的展開、新時代創造プロジェクト及び地域計画について、プラン3.0の開始時点を始点とし、2024（令和6）年度までの取組実績、現在の取組内容及び今後の方向性を踏まえて評価を行います。

(2) 事業点検

内部管理経費等を除くすべての事業について、2024（令和6）年度の実績を踏まえて評価を行います。

3 観点

(1) プラン3.0におけるより効果的・効率的な施策の推進

プラン3.0に基づいて実施した取組の成果と課題を把握し、次年度以降の政策形成及び事業構築に反映させることで、より効果的・効率的な施策の推進につなげていきます。

(2) 説明責任の履行

施策の進捗管理においては、目標値に対する進捗状況等及び取組の成果と課題について、指標の経年変化の状況や全国における本県の立ち位置等も加味しつつ、県民の皆様に分かりやすい表現を心がけ取りまとめます。

また、事業点検においては、現状と課題及び事業目的を明確にした上で、取組実績や成果指標の達成状況に関する要因分析に加え、県民の皆様や事業者の皆様などからの改善要望等も踏まえて、事業の課題や改善方策について取りまとめます。

(3)「学ぶ県組織」の浸透

職員一人ひとりが「データ」「因果関係」「成果と課題」を重視した評価を通じて政策立案力の強化を図り、変化を恐れず新たな取組に挑戦していく組織風土（「学ぶ県組織」）をさらに浸透させていきます。

4 評価方法

(1) 施策の進捗管理

① 施策の総合的展開

主要目標及び達成目標の目安値（計画期間中の各年度における進捗の目安となる値。以下同じ。）に対する進捗状況を下表の区分に従って判定し、取組の成果と課題を把握します。

ただし、期間中継続して同一基準の達成を目標とする場合は、達成の場合A、未達成の場合Dとします。

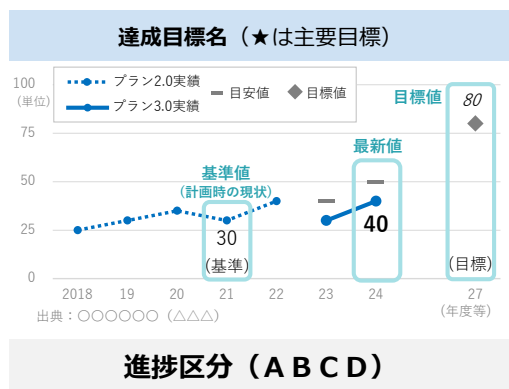
進捗率	100%以上	80%以上100%未満	80%未満	基準値未満
進捗区分	A	B	C	D

※進捗率 = (最新実績値 - 基準値) / (今回目安値 - 基準値) * 100 を原則として算定。

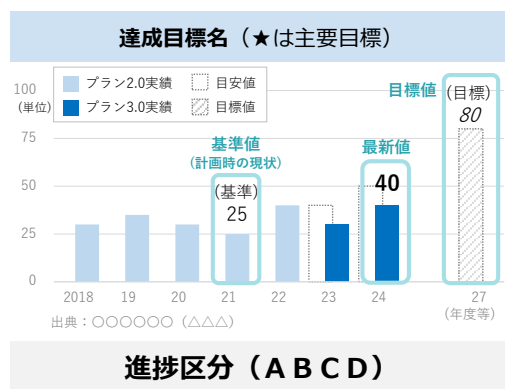
(累計値の目標等は基準値を減算せず算定)

なお、主要目標及び達成目標の推移を示すグラフの見方は次のとおりです。

〔折れ線グラフの場合〕



〔棒グラフの場合〕



② 新時代創造プロジェクト

プロジェクトの背景となる政策課題の状況を定量的に分析した上で、プロジェクトが目指す姿とその達成手段を体系的に整理し、施策・取組内容とその成果・課題及び今後の取組の方向性を明らかにします。

③ 地域計画

地域重点政策で掲げた達成目標について、目標値に対する進捗状況を①と同様の区分に従って判定した上で、取組の成果と課題を把握します。

(2) 事業点検

事業担当部局において、成果指標の達成状況分析及び今後の事業の方向性について、事業改善シートを活用して自己点検を実施しました。

5 外部の視点の確保

評価結果の客観性・妥当性を担保し、説明責任を果たすため、総合計画審議会において評価結果に対する意見をお聞きます。

6 報告等

評価の結果概要を長野県基本計画の議決等に関する条例に基づき県議会へ報告するとともに、県民に公表します。